

Mシネマ
第11弾

共犯者 たち

誰がために

憲法はある

憲法

映画特集

主戦場

やくざと
憲法

とは何
なのか

2020年

4/4(土) ~ 10(金) ※7(火)休映

シネマハウス大塚

問合せ：(株)ミカタエンタテインメント

090・5328・6298



憲法とは何なのか？我々の生活を守るものなのか、権利を守るものなのか、はたまた政府を縛り付けるものなのか。従軍慰安婦、韓国大統領のスキャンダルなど、あらゆる問題から日本の生き方を考える。いま、必要なことではないだろうか・・・。

主戦場

監督：ミキ・デザキ

(2019/アメリカ/122分)



ひっくり返るのは歴史か、それともあなたの常識か日系アメリカ人映像作家ミキ・デザキが慰安婦問題をめぐる論争をさまざまな角度から検証、分析したドキュメンタリー。慰安婦たちは「性奴隷」だったのか？「強制連行」は本当にあったのか？なぜ元慰安婦たちの証言はブレるのか？そして、日本政府の謝罪と法的責任とは……？この問題を検証すべく、日本、アメリカ、韓国、肯定派と否定派それぞれの立場で論争の中心にいる人びとに取材を敢行。さらに膨大な量のニュース映像や記事の検証を交え、慰安婦問題を検証していく。

©NO MAN PRODUCTIONS LLC

共犯者たち

監督：チェ・スンホ

(2017/韓国/105分)



イ・ミョンバク（李明博）とバク・クネ（朴槿恵）政権の約9年間にわたる言論弾圧の実態を告発した韓国製ドキュメンタリー。イ・ミョンバク政権は、公共放送局KBSや公営放送局MBCをターゲットに、メディアへの露骨な介入を開始。政権に批判的な経営陣は排除され、調査報道チームは解散、記者たちは非制作部門へと追いやられた。両局は政府発表を報じるだけの「広報機関」となったが、それでもあきらめない本物のジャーナリストたちがいた。

©KCIJ Newstapa

誰がために憲法はある

監督：井上淳一

(2019/日本/69分)



芸人・松元ヒロが舞台上で演じ続けている1人語り「憲法くん」をベースに、日本国憲法とは何かを改めて見つめなおすドキュメンタリー。日本国憲法の大切さを伝えるために日本国憲法を擬人化し、松元ヒロにより20年以上も演じ続けている1人語り「憲法くん」を、19年で87歳になる渡辺美佐子が、戦争の悲劇が二度とこの国に起こらないよう、魂を込めて演じた様子が収められている。

©「誰がために憲法はある」製作運動体

やくざと憲法

監督：ひじ方宏史

(2015/日本/96分)



ヤクザと人権問題に迫ったドキュメンタリー作品。暴力団対策法、暴力団排除条例の施行以降、ヤクザや暴力団の構成員数が減少に向かっている。これまで以上の逆風の中で、彼らヤクザはどのような日常を送り、何を考えているのか。大阪の指定暴力団「二代目東組二代目清勇会」にカメラが入り、これまで見えなかったヤクザの現実を記録。「清勇会」会長は、カメラの前で「ヤクザとその家族に人権侵害が起きている」と語りはじめる。

©東海テレビ放送

4 土		5 日		6 月		7 火		8 水		9 木		10 金		
11:10~	主戦場	11:10~	主戦場	14:10~	主戦場	7 休映	11:10~	主戦場	14:10~	主戦場	14:10~	主戦場	14:10~	主戦場
13:20~	誰がために憲法はある	13:20~	誰がために憲法はある	16:20~	共犯者たち		16:20~	やくざと憲法	16:20~	誰がために憲法はある	16:20~	誰がために憲法はある	16:20~	誰がために憲法はある
15:00~	共犯者たち	15:00~	やくざと憲法	18:10~	主戦場		18:10~	主戦場	17:35~	主戦場	17:35~	主戦場	17:35~	主戦場

Talk 5日 井上淳一監督トークイベント(予定)

Mシネマ 第11弾 映画特集 **憲法とは何なのか**

2020年 **4/4土 ~ 10金** ※7火休映

料 一般 1,500円 / シニア・学生・障がい者 1,100円
金 ※リピーター割引、イベント料金など特別料金もあり

(2回以上見るお客様は500円引き/別の割引との併用不可)

問合せ：(株)ミカタエンタテインメント info.mikataent@gmail.com



シネマハウス大塚
03-5972-4130

〒170-0002 東京都豊島区
巣鴨 4-7-4-101

